

「中部圏における地域づくりの資金を考える」
シンポジウム
平成28年1月30日(土)

愛知万博基本理念継承発展事業
(モリコロ基金)

岐阜薬科大学

稲垣 隆司

愛・地球博のテーマ;「自然の叡智」

- ・ 地球的課題の解決に貢献し、自然の仕組みと調和した新しい文明を構築することを目指す



2005年9月18日
最高入場者 28万人超



会場内の風景(グローバルコモン6)



基本理念の継承発展事業の方向

(基本理念継承発展検討委員会報告:平成18年6月)

- 基本理念を継承発展させていく事業は、「愛・地球博が達成した価値の遺産を作り、その遺産と記憶を将来に伝えていく」ことが必要
具体的には、①「記憶に刻む」、②「繰り返し伝える」、③「遺産を具体的な形で実現する」の3点が適当

- 「遺産を具体的な形で実現する」とは
 - ・ 「国際博覧会史上初めてとなったNPO・NGOや市民の直接参加が、多くの市民の共感を呼び、多くの来場者に行動喚起を促すこととなった。こうした新たな動きの芽生えと胎動を確かな歩みへと定着させ発展していくべきである」と、NPO・NGOや市民参加の重要性を指摘。

- 愛・地球博の成果を全国や世界に発信し拡大させていくことが必要。
そのために収支残を「全国において展開される地形」と「開催地域において展開される事業」に活用すべき。



「あいちモリコロ基金」

＜万博運営収支残 139億円 の使途＞

配分先		金額 (億円)	事業
全国 事業	(財)地球産業文化研究所	69.70	記念事業、成果発信事業、成果実用化事業
開催 地域 事業	愛知県	42.90	アイデアの広場整備等自主事業 30億円 社会貢献活動支援地元4社負託事業 12.9億円
	名古屋市	10.00	名古屋城本丸御殿復元事業 10億円
	名古屋商工会議所	5.25	環境技術発信・国際交流事業支援 4億円 東海3県商工会議所理念継承事業支援 1.25億円
	(財)国際環境技術移転 研究センター	1.00	環境関連技術移転事業
	(財)中部科学技術セン ター	5.78	海外研究者共同研究事業 3.78億円 グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ事業 2億円
	(社)日本観光協会	0.75	国際交流推進事業 0.75億円
	(財)ファインセラミックセ ンター	4.00	ナノテクセンター構想



1 愛知県における自主事業 30億円 の施行状況

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| ① 愛・地球博記念公園アイデアの広場事業 | 15億円 |
| ・アイデアの広場整備 | |
| ・記念イベントの実施など | |
| ② 一市町村一国フレンド事業継承事業 | 10億円 |
| ・市町村が行う国際交流事業などの支援 | |
| ③ 環境関連事業 | 3.5億円 |
| ・海上の森関連事業 | |
| ・環境学習事業の実施 | |
| ④ 科学技術関連事業 | 1.5億円 |
| ・子供たちの提案に基づく最先端技術
実用化に向けた研究開発などの実施 | |

2 社会貢献活動支援地元4者負託事業(12.9億円)

(愛知県、名古屋市、名商、中経連) ⇒ モリコロ基金

3 基金運用益(73,238千円)

- ・「愛・地球博記念公園整備事業」、「ユネスコスクール加盟促進事業」、「あいち版博10周年記念博覧会展開催事業」などに執行

